

会 議 事 録

1 会議名	第6回長岡市立地適正化計画策定委員会
2 開催日時	令和5年1月23日（月曜日）午後1時30分～午後3時30分
3 開催場所	長岡市社会福祉センター トモシア3階 多目的ホール
4 出席者名	<p>■出席委員（6名） 佐野委員長、松川委員、松田委員、福本委員、小村委員、宮下委員</p> <p>■オブザーバー（4名） 国土交通省北陸地方整備局建政部 音瀬都市・住宅整備課長、新潟県土木部都市局 安藤都市政策課長、北陸地方整備局河川部 高橋河川計画課長（代理出席：有澤調査第一係長）、北陸地方整備局信濃川河川事務所 山邊副所長</p> <p>■事務局（7名） 若月都市整備部長、高頭都市政策課長、辻都市防災まちづくり担当課長、近藤交通政策担当課長、平澤都市政策課長補佐、小林都市防災まちづくり担当課長補佐、小島都市政策担当係長</p>
5 欠席者名	樋口委員
6 議題	1 改定計画書（案）について
7 審議結果の概要	・上記議題に関する質疑応答を行い、立地適正化計画の改定計画書（案）について、各委員の意見を集約した。

8 審議の内容	
都市政策課長補佐	<p>ただいまから、第6回長岡市立地適正化計画策定委員会を開催する。委員会の開催案内に記載のとおり、本日の第6回策定委員会が最終回である。</p> <p>まずは都市整備部長よりご挨拶を申し上げます。</p>
都市整備部長	<p>(都市整備部長 開会あいさつ)</p>
都市政策課長補佐	<p>議事に入る前に、資料の確認をさせていただく。</p> <p>(資料の確認)</p> <p>本日は議事録作成のため、録画および録音させていただくことをご了承いただきたい。</p> <p>早速、議事に入らせていただく。</p> <p>議事の進行は委員長にお願いしたい。</p>
委員長	<p>先ほど事務局よりお話があったとおり、本日が最終回である。それでは、お手元の資料に従い、議事を進行させていただく。本日の議事は、改定計画書(案)についてである。改定計画書(案)の最終確認となる。</p> <p>事務局の説明後、改定計画書(案)に対するご意見やご質問をいただき、休憩を挟んで立地適正化計画のまちづくりについて思うこと等をお聞きしたい。</p> <p>では、事務局より説明をお願いします。</p>
都市政策課長 都市防災まちづくり担当課長	<p>—議事(1)について資料説明—</p>
委員長	<p>以上の説明に関して、ご質問やご意見があればご発言いただきたい。</p> <p>なお、本日ご欠席の樋口先生からは、事前にご意見はないと伺っている。</p>

A委員	<p>昨年末頃に資料をいただき、中身を確認させていただいた。</p> <p>特に指摘事項はないが、細かい箇所を確認したい。量があるため内容は後ほど説明させていただくが、差し支えないかだけ会議の場でご了承いただきたい。</p>
委員長	<p>それでは、後ほどご指摘いただくようお願いしたい。</p> <p>他にご質問、ご意見はあるか。</p>
B委員	<p>パブリックコメントが一件も無かったとのことだが、これはよくあることなのか、それとも長岡市では珍しいことか。</p> <p>傾向を存じ上げないので教えていただきたい。</p>
都市整備部長	<p>最初に都市政策課長が申し上げたが、閲覧数は他よりも多かった。</p> <p>しかし、パブリックコメントが無いことは珍しい。最近では様々な意見があり、公共交通に関する計画に対する意見は多かった。閲覧数は多いが、意見は無いということもなかなか珍しい。</p>
委員長	<p>閲覧者とは、(改定計画書(案)を)ダウンロードした人ということか。</p>
都市政策課長	<p>閲覧者とは、ダウンロードされた方だけでなく、ホームページ及び庁舎の窓口で閲覧された方を含むものである。</p> <p>ページの閲覧数は、通常の約3倍であった。</p> <p>実際に来庁し、閲覧された方は1名だったが、ホームページについて、ダウンロードされた、あるいはページを閲覧された数は3倍以上であり、関心を持っていただいたと思う。</p>
委員長	<p>計画書のページ数が膨大なので一概には言えないが、きちんと読んでいる方が何人いるかが大切。</p>
都市政策課長	<p>ご指摘の通りである。</p> <p>内容が分かりやすいように概要版も付けて、閲覧に供した。</p>
都市防災まちづくり担当課長	<p>本計画は防災に関する内容も含んでいるので、特に、防災に関する内容の見方について理解が進むように意識し、ホームページへ掲</p>

<p>都市防災まちづくり担当 課長補佐</p>	<p>載した。ページビューが増えたということは、やはりまちづくりに関心があり、見ていただいたと思っている。</p>
<p>B委員</p>	<p>お電話で、「防災指針を追加することに伴うまちなか居住区域に変更はないのか」、「防災指針により新たな規制はないのか」というご質問があった。</p> <p>ご質問に対しては、「栃尾地域に一部レッドゾーンが追加されたことに伴うまちなか居住区域の変更がある」、「新たな規制はない」との回答をし、防災指針では、まちなか居住区域の安全性を高めるための取組を記載させていただいているというお話をしたところ、ご理解いただいた。</p>
<p>C委員</p>	<p>ダウンロード数に関しては、市民から注目されたかまでは把握できないと思うが、今回のリスク評価の手法が外部から注目されたのではないかと推測している。</p> <p>普段はご意見をいただける一方、今回は無かったということをお好意的に評価してよいのかわからないが、経過は承知した。</p>
<p>C委員</p>	<p>ページビューは市庁内の方々のアクセスを除外しているか。</p>
<p>都市防災まちづくり担当課長</p>	<p>市庁内での共有は別途しており、(インターネット環境については)外部のサイトでなければ閲覧できないため、含まれていない。</p>
<p>C委員</p>	<p>本質的にはページビューやアクセス状況ではなく、今回お問い合わせをいただいたような方へしっかりと届いているかという視点が非常に重要である。</p> <p>そういった意味では、パブリックコメントはもう仕方がないが、必要な方に対する説明や周知をしっかりと行っていくことをお願いしたい。</p> <p>また、P140について、まちなか居住区域定住促進事業を活用し、341名移住された方がいるとのことだが、どこから移住された方なのか教えていただきたい。</p> <p>同様に、サテライトオフィスの支援をしているとのことだが、最近、大手通エリアを中心に、民間事業者から「サテライトオフィスやコワーキングスペースを作りたい」という相談が私の研究室へあるので、そういう制度に興味を持っているのではないかと。</p>

<p>都市政策課長</p>	<p>イトオフィスがどのように稼働しているのか情報をいただきたい。</p> <p>まちなか居住区域定住促進事業に関しては、移住元は確認してお答えするが、基本的には市外からの移住である。</p> <p>サテライトオフィスについては、細かい資料を持ち合わせておらず、所管も異なるため、後日回答させていただきたい。</p>
<p>C委員</p>	<p>承知した。</p> <p>これからこういった施策等を実行していくに当たり、地域としっかり関わっていくという実質の部分が重要なのではないかと思ひ、質問させていただいた。</p>
<p>都市政策担当係長</p>	<p>一点目のまちなか居住区域定住促進事業で341名の方が移住されたとの点について、細かい数字は今回持ってきていないが、市外の方のうち、県外の方が占める割合が概ね2割、県内が8割である。やはり新潟県内にお住まいの方が長岡に移住される割合が圧倒的に多い。</p> <p>二点目のサテライトオフィスについては、都市政策課長からも説明したが、C先生が関心を持たれている地域との関わり等も含めてお調べして回答させていただきたい。</p>
<p>委員長</p>	<p>数字だけではなく細かいことも言っていただけると施策に役立てられるかと思うので、よろしく願いしたい。</p> <p>他に何かご意見、ご質問はあるか。</p> <p>指摘されたことはまた反映されていくと思う。</p> <p>それでは、次に進めさせていただく。</p>
<p>委員長</p>	<p>まずは、委員、お一人ずつ2年間にわたり立地適正化計画の改定に関わった中で今後のまちづくりについて思うこと等をご発言いただき、その後、オブザーバーの皆様からもご発言をいただきたい。</p> <p>時間も限られているので、お一人3分程度でお願いしたい。</p> <p>では、C委員から時計回りをお願いしたい。</p>
<p>C委員</p>	<p>2年間関わらせていただき、都市計画マスタープランにも携わらせていただいた。中越地震以降、長岡市は、防災についてかなり取</p>

B委員	<p>り組んできたのではないかと思います。</p> <p>都市計画マスタープランの骨子からも（防災に関する記載を）無くそうという経緯があったが、2019年の大きな水害を受けて、やはり重要ということで入れた経緯がある。立地適正化計画についても、様々な人の認識や心にしっかりと刺さるような内容と施策を打ち、実際の行動を変化させられるプランを作っていくための骨子になるものとして出来ているのではないかと思います。</p> <p>数値的な細かい部分は責任が伴うため、なかなか市からは出しづらと思うが、そういった部分にも取り組んでいただいたと思う。</p> <p>現段階では、計画として書ける内容のベストに近く、非常に頑張っている。一方、数値目標や実態を見ながらどのように修正し、被害を最小限に抑えるか等、より立地適正化計画の本質に沿うような形で実効性の高い内容を出し続けるかということが重要である。</p> <p>計画の策定とはやや主旨の違う質問をしたが、住む人や利用する人の動きをしっかりと踏まえていただくと、パブリックコメントが0件のような形ではなく、計画に記載されている施策が実際に使われる等、計画を基礎として人々の活動が行われることを促進できるのではないかと思いますので、今後は数値目標などの管理と見直しに取り組んでいただきたい。</p> <p>私自身、防災まちづくり、特にコミュニティの部分を専門としているので、まちなかだけではなく、今回対象エリアには入っていない寺泊等の中山間地域のこれからのまちの在り方や住む人々の生活の在り方などをしっかり押さえながら、長岡市内の様々な場所を地域に関わらず一体的に良いまちだと認識してもらえるように取り組んでいきたい。</p> <p>また、空き家や企業の人を繋いでいく取組も研究室として一生懸命行っているので、このような計画に携わった身として、関わる方々にこの根幹を伝えていきつつ、被害を減らせるようなまちにしていきたい。</p> <p>計画としては、非常にいいものができたのではないかと。</p> <p>皆様お疲れ様でした。本当に膨大な作業だったと思う。</p> <p>私はC先生と同じく、普段はすごく小さいところを対象としており、一人一人を対象として見るような研究スタイルだが、立地適正化計画は都市全体を見て将来像を紙に落とし込むというスケールの</p>
-----	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

<p>A委員</p>	<p>違う大きな仕事であり、大変勉強になった。</p> <p>特に、防災まちづくりの部分として、リスクの評価を市民のものとして紙に落とすという作業をする時に、途中の議論でもあったが、レベルの表の作り方や用語、イラストの描き方等、こういったひとつひとつのところで誤解を生じさせず、かつ正確に伝えることに非常に時間を割いたこともあり、質の高いものになったのではないかと思う。</p> <p>しかし、これで完璧かと言われると自信はなく、やはり今後計画が動き始めてからの議論の中で、批判的な視点も必要なのではないかと思う。</p> <p>また、計画が市民とのコミュニケーションのツールであると改めて感じた。パブリックコメントが0件という点は、私は残念だと感じたが、自分の住んでいるエリアや移住をしたいエリアがどう評価されているのかを見た時に、また何か意見等が出てくるかもしれないので、今後の活用に期待している。</p> <p>私も本計画を活用して地域に入っていきたい。</p> <p>非常に膨大なデータを集められ、複雑かつ緻密な分析がされており、研究以上の分析をされたと非常に感心して聞かせていただいた。同様の研究をしているので、非常に勉強になった。</p> <p>今回の立地適正化計画の改定は、防災指針の策定が主目的かもしれないが、そもそも立地適正化計画は防災ありきの計画ではなく、少子高齢化や人口減少等への対応という意図で作られた計画であるので、今後も取組をしていくことになると思う。</p> <p>浸水リスクの高い場所は、多くの方が住んでいて生活利便性も非常に良く、かつ長岡としての長い歴史があるような場所である。中出先生もお話されていたが、都市としての覚悟を示して居住誘導区域をかなりコンパクトに掛けたという意味では、長岡にとって重要な意味がある。</p> <p>他の都市の防災指針をいろいろ見させていただくが、既存の対策や事業をただ羅列しているだけで、それは本当に防災指針なのかと首をかしげるところもある。実は、長岡市の計画もそういった面があると言えはるが、その中でもご議論いただきながら、様々な対策を掲げていただいたので、非常に良い計画だと思う。</p> <p>今後も改定があると思うので、日々ブラッシュアップしていければと思っている。期待している。</p>
------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

D委員	<p>まずは計画の改定に当たり、都市計画等を専門にされている委員の先生方をはじめ、事務局の方々に対し、敬意を表したい。</p> <p>まちづくりにとって、防災の視点はとても重要な時代になってきている。本計画も防災の視点での修正としてなされたが、本計画において防災のリスクのデータを具体的に示すことができたことは、とても意義が大きい。今後は、市民一人一人が計画の中身に関心を持ってほしい。</p> <p>また、市民だけでなく、行政内部でも多分野の部署があり、例えば、私も関連してきた福祉の分野でも施設の立地や事業所運営等に関して、本計画の内容も承知した上で今後、役に立ててほしい。</p> <p>今後この計画が実効性のあるものにするために、他分野との計画との連携を取っていただき、より良い、安全なまちづくりに貢献できるようにすることを希望する。</p>
E委員	<p>市民の意見として、感想を述べさせていただく。</p> <p>長岡市は住みやすいまち、住み続けたいまち、まちの幸福度など様々な調査で上位にランキングされており、街として高い評価を受けている。市民としてもそれは大変誇らしい。</p> <p>私の子供や子供の友人は、県外にいなながらも、長岡出身であることを大変誇りに思っている。都会ではないが、ちょっとした便利な田舎であることから心地がよいのではないかな。</p> <p>長岡駅の大手口周辺は、中心地として商業施設が集積しており、利便性が高いとの評価である。再開発やアオーレ長岡、子育ての駅など、先進的な取組が高く評価されている。一方で、実際に暮らしている市民の感想としては、それほど感がある。特に、公共交通や生活面、商業面などでは物足りなさを感じている。中心市街地では空き家が目立ち、空き地が駐車場として用途をもった空き地へ変わっていく。今後の低未利用地の活用に変期待している。計画書（案）P140に記載のある柳原分庁舎跡地の利活用については、町内の方も大変関心を持っている。</p> <p>しかし、私たち住む側にも少し問題があり、市の方が新しい取組を提案してくださっても、やや消極的なところがある。他の地域で取り組むことはよいが、自分の地域では取組に消極的な点が問題と思う。また、「米百俵プレイス ミライエ長岡」のオープンで、大手通がどのように変化していくのを大変楽しみにしている。たくさんの方が動いて賑わっている有り様を見たい。</p>

F オブザーバー	<p>今回、他の自治体に比べて非常に精度の高い計画になったということ誇りに思っただけだと思います。これまで、関係各所との調整等、お疲れ様でした。</p> <p>市のまちづくり部局が、なかなか交わることのない河川事務所等と積極的に連携していたことは非常に先進的なことであり、計画の精度を高めることが出来たと考える。行政の縦割り等で邪魔が入ることも多いが、その垣根を一段超えたと思っている。</p> <p>この計画を陳腐化させないためにも、引き続きこのような議論を保持しながら、継続的かつ積極的に取り組んでいくことが、これからも有意義な計画を作っていく上で重要である。</p> <p>最後に、追加された P100 の関連計画との棲み分けなど、このような記載は市民への説明や分かりやすい計画とするために必要だと思います。引き続き、市民の方々へ向けた噛み砕いた説明を意識して関心を持っていただき、さらには市民に気付きを与えていただければよいかと思う。</p>
G オブザーバー	<p>当事務所はオブザーバーとして、防災の関係、特に水害に関するリスク及びその対策等について、長岡市に協力させていただいた。昨年も新潟県北部を中心に豪雨災害が起きている。近年気候変動が進み、災害が頻発・激甚化していると言われている。立地適正化計画により、被害を減少させるまちづくり、住まいづくりがキーになってくる。そのための計画ということで非常に大切なものである。</p> <p>当事務所では、土地利用や住まい方の工夫の検討及び水害リスクを踏まえた防災まちづくりの検討資料に利用できるように、「水害リスクマップ」を作成している。これは土地の浸水しやすさの確率を評価し、色分けして示している。現時点では、信濃川が破堤した際の外水氾濫を想定して作成しているが、今後長岡市と協力して内水対策として、処理しきれない降雨を評価したリスクマップの作成も進めていく予定である。</p> <p>引き続き様々な事案を含め、新潟県及び長岡市と連携し、安全・安心な地域づくりを推進していきたい。</p>
H オブザーバー (代理)	<p>伝言を預かっているので、代理でお伝えさせていただく。</p> <p>委員長をはじめとする委員の皆様、長岡市の皆様が、熱心な議論を重ねてこられ、立地適正化計画に防災指針が追加されることとなる。</p>

<p>I オブザーバー</p>	<p>外水及び内水による水害や土砂災害等に対し、防災まちづくりの考え方や各地域の課題、それに対する対策について記載されており、より災害に強いまちづくりをしていく上での計画が改定されることは、長岡市の皆様の安全・安心を守っていく上で非常に重要であると感じている。</p> <p>今年度も北陸地方整備局管内では、8月に新潟県や石川県で大規模な出水により大きな被害が発生した。今後も気候変動による風水害の頻発・激甚化が予想され、災害は全国いっどこで起こるか分からない時代を迎えている。水害に対してはあらゆる関係者で行う流域治水の取組を全国的に進めている。北陸地方整備局としても、河川整備等を推進すると共に長岡市の皆様とより一層安全・安心のために、まちづくりと一体となったハード・ソフト対策を流域治水の取組として、関係する住民の皆様と推進していきたいと考えているので、引き続き連携をお願いしたい。</p> <p>私どもから二点、県内の立地適正化計画の状況についてお話させていただく。このたび、長岡市で行っていただいた中間評価だが、県内の自治体では初めての実施である。中間評価は、本委員会においても2年間要したということで大変な労力が必要となるので、長岡市に先頭を切っていただいていることに感謝申し上げる。また、他の市町村の参考事例になると考えている。</p> <p>中間評価により、現状及び問題点を確認していただく機会にもなり、新しい課題に踏み込んだ計画策定に繋がると思うので、中間評価が終わった後でも、機会があれば進捗状況について確認していただきたい。</p> <p>もう一点は、防災まちづくりについてである。県内でも3自治体が先行して定めているが、長岡市については非常に精度が高いものとなっている。市町村によって状況や地形的な事情もあるので、一概に他のところが努力していないというわけではないが、長岡市においては、国、県などの機関ともよく連携し、作っていただいた結果ではないかと思う。</p> <p>また、先ほどお話があったパブリックコメントについてであるが、これは私の個人的な意見であり、参考程度に聞いていただきたい。</p> <p>我々の部局でもいくつかパブリックコメントをかけているが、やはり利害関係者の方や興味のある方が多い分野については、意見が</p>
-----------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

<p>委員長</p>	<p>多い傾向である。立地適正化計画に関しては、県が直接パブリックコメントを実施している訳ではないので、あまり多くの意見があるとは聞いていないが、おそらく立地適正化計画の知名度が十分でなく、理解されていないように思う。都市計画の変更についてはご意見をいただくので、立ち位置についてももう少し理解してもらえるように我々も頑張らなくてはいけない。</p> <p>最後に、まちづくりについては、市町村の方に先頭に立っていただいているが、県としても一緒になって良いまちが作れるように頑張っていきたいと思うので、今後ともよろしくお願ひしたい。</p> <p>それでは、最後に総括させていただく。</p> <p>まずは、事務局の皆様には、膨大な資料を上手くまとめていただいた。また、2年間議論いただいた委員の皆様へ感謝申し上げます。</p> <p>長岡市中心部の大部分は浸水する地域というなかで、どういったフィージブルな（注：実現可能な）対応を求めるかという点が大変難しい。そのためにも、本検討の特徴であるデータやGISを使い、ご苦労されたと理解している。</p> <p>先ほど、新潟県の方がお話されたように、長岡市が県内で初めての間接評価とのことであり、これくらいやれるということをご皆さんに見ていただくことは重要だと思ひるので、各市町村に展開していただけるとよいのではないかと。</p> <p>この間接評価はPDCAの一環でなされており、各数値目標が設定されていて、数値目標が達成されたからよいという面もあるが、プロセスなどを精査していただき、次の施策に活かしていただければと思ひます。私は交通の専門家であり、いろいろとご迷惑をかけたと思ひますが、大変勉強になった。</p> <p>本日予定していた議事はこれで終了である。 進行を事務局にお返しする。</p>
<p>都市政策課長補佐</p>	<p>委員長ありがとうございました。</p> <p>議事は以上だが、答申の方法について確認させていただく。</p> <p>答申については、委員長の一任でご承認願えればと思ひているが、皆様いかがか。</p>
<p>各委員</p>	<p>(異議なし)</p>

都市政策課長補佐	<p>ありがとうございます。</p> <p>委員長への一任で異議なしのようですので、委員長よろしくお願 いいたします。</p>
委員長	<p>一任ありがとうございます。</p> <p>それでは私から答申させていただく。本日の委員会において、特 段修正すべき事項はないため、本日の改定計画書（案）を当委員会 の答申として決定する。</p>
都市政策課長補佐	<p>ありがとうございました。</p> <p>委員の皆様、オブザーバーの皆様、本日も長時間にわたり熱心 にご議論いただきありがとうございました。</p> <p>ご議論いただいた改定計画書（案）については、2月14日（火曜 日）に開催される「第1回長岡市都市計画審議会」において意見照 会を行い、その後正式に決定とさせていただきます。</p> <p>また、本委員会の議事録については、作成後、委員長から確認の ご署名をいただき、委員、オブザーバーの皆様へ送付させていた だく。</p> <p>それでは、最後に、都市整備部長から皆様へお礼申し上げます。</p>
都市整備部長	<p>（都市整備部長 閉会あいさつ）</p>
都市政策課長補佐	<p>以上をもって、第6回長岡市立地適正化計画策定委員会を閉会す る。</p>
<p>（委員長の署名欄）</p> <p style="text-align: center;">佐野 可寸志</p>	
9 会議資料	別添のとおり